

# 手足口病

分類及び外部参照情報



11ヶ月男児の口の周りの典型的な病変

**091 夏は手足口病の流行期—  
無菌性髄膜炎を発症すると発熱、嘔吐、頭痛などを伴います—特に赤ちゃんは要注意（  
中国新聞H24年6月19日）**

H24. 6. 19. 中国新聞

夏は手足口病の流行期。乳幼児に多い感染症で一般的には軽くて済むが、ごくまれに生後間もない赤ちゃんが感染すると重症化することがある。予防が難しく、両親の注意が求められる。

手足口病は病名が示す通り手や足、口の中などを中心に白っぽい発疹ができる夏風邪の一種。東京都立小児総合医療センター感染症科の堀越裕歩医師によると原因はエンテロウイルスで、感染者のせきやくしゃみ、排せつ物による飛沫や接触から感染。感染後数日で発症し、軽い場合は数日から1週間前後で自然に治る。症状が治まっても、エンテロウイルスは数週間は消化管に残って排せつされるため、幼稚園や保育園で流行しやすいという。

また、エンテロウイルスは種類が多く、再感染することがある。残念ながら現状では、エンテロウイルスに対する抗ウイルス薬はな

# 必要診受や熱発 注意を赤ちゃん手足口病

い。注意を要するのは重症化したケースだ。例えば、エンテロウイルスで無菌性髄膜炎を発症すると発熱、嘔吐、頭痛などを伴う。後遺症がなく治ることが多いが、水分が取れなくなってしまうことがある。

堀越医師は「こうした症状が見られた場合は、まず近くの小児科を受診してください。治療は症状に応じた対症療法が取られます。脱水で具合が悪くなることが多いのです」と指摘する。

また、生後1カ月未満の赤ちゃんは重症化することがある。兄や姉が感染した場合は、手洗いを徹底した方がよい。

堀越医師は「家族内に感染者がいなくても、家族全員が普段から小まめに手を洗うことが予防につながります。特に赤ちゃんを抱っこするときなどは、事前に手を洗ってから触れる習慣を付けるといいでしょう」とアドバイスしている。